



## 10/12・13 秋の動物ふれあいフェスティバル



大森山動物園の人気イベント「秋の動物ふれあいフェスティバル」を2日にわたって開催しました。名物となりつつあるどうぶつパレードでは、大観衆に囲まれながら動物たちが堂々行進。12日には、国民文化祭被災地児童招待事業として東日本大震災で被災された宮城・岩手の3市町からのお客さまをお迎えし、青空の下動物たちとのふれあいをお楽しみいただきました。このほか、動物園裏側探検や、「ミルヴェンジャー7」が登場するウォーククイズなどの特別イベントに、たくさんのお客さまにご参加いただきました。

## 10/19 塩曳潟の水生物調査



採捕した生物を調査

地びき網を使った作業

大森山動物園内にある天然の沼(塩曳潟)で希少魚類を含む水生生物調査を行いました。市民調査ボランティアを募集し、計20名の参加がありました。調査は秋田淡水魚研究会の指導の下、地びき網や定置網を用いてボランティアの皆さんに引いてもらいました。当日は天候にも恵まれ、希少魚類のゼニタナゴ3匹、シナイモツゴ35匹、キタノアカヒレタビラ11匹をはじめ計220匹の魚類と9匹のアメリカザリガニを採捕することができました。参加者全員が沼に希少魚類が生息することを確認でき、動物園の保護活動に関心を持ってもらうことができました。また、参加者は初めての地びき網に興味津々で、一生懸命に引っ張っていたのが印象的でした。

## 11/16 どうぶつサイエンス



動物の皮膚に触ってみました

カメの甲羅はこんな感じ

自然科学学習館との共同企画「どうぶつサイエンス」を行いました。年に2回行われる動物の不思議について学ぶイベントの後半のテーマは「表皮のひみつをさぐる」でした。今回は29名の参加があり、いろいろな動物の皮膚や毛、羽などについて学びました。ヤマアラシの毛の堅さや仕組みを実感したり、タナゴのオスの婚姻色を観察したりしました。園内を見終わった後、サプライズとしていろいろな動物に登場してもらい実際に近くで見たり、触ったりして皮膚の感触を確かめてもらいました。標本を用いた説明では、カメの甲羅は骨と一体になっていることに皆さん驚いている様子でした。

## 11/22 「いい夫婦の日」イベント



6回目の開催となる「いい夫婦の日」イベントを開催し、18組のご夫婦に参加いただきました。ご夫婦一緒に干支のヒツジや、アカコンゴウインコとの記念撮影を行ったほか、普段は入れないカピバラやキリンの施設内でエサやり体験をするなど、大人の動物園を満喫してもらいました。

また、午後にはチンパンジーJ太郎の9歳の誕生日会もあり、参加者が持ち寄ったリンゴやバナナなどの果物を詰め合わせてJ太郎へプレゼントしました。当日は晴天の中、穏やかな雰囲気の中動物園を楽しみ、ご夫婦にとって良い記念になったことと思います。

## 11/30 さよなら感謝祭



ミルヴェンジャー7ショー

セレモニーの様子

お客さまと動物たちへの感謝を込めて「さよなら感謝祭」を開催しました。ビジターセンター動物園エリアで行ったセレモニーでは、今年亡くなったレッサーパンダなど25種80点の動物に慰霊の献花を行い、動物園の運営にご協力いただいた団体や学校に感謝の花束を贈呈しました。今回から、「動物園へのひとことメッセージ」として、地域の学校の児童・生徒から動物園での思い出や、勉強して飼育員になりたいといった将来の夢などを発表してもらいました。また、秋田銀行同志会本店支部および職員組合本店支部の皆さまから、動物園イメージキャラクター「オモリン」の幟50本を寄贈していただきました。セレモニー終了後にはお楽しみ抽選会を行い、多くのかたに参加いただいたほか、園内ではミルヴェンジャー7のステージショーも開催され、笑顔あふれる賑やかな通常開園最終日となりました。

## 12/25・1/31・2/1 なかいちウインターパーク「移動動物園」



秋田市中心市街地活性化のイベントの一つとして、なかいち・にぎわい広場で移動動物園を開催しました。移動動物園も3年目を迎え、これまでの経験と職員の協力体制もあり、無事に終えることができました。初日となった12月25日は、市内の小中学校の冬休み前の平日だったためか、午後1時から3時までの来場者は286名。やや賑やかさに欠けるものの、動物たちとゆっくり過ごすお客さまの笑顔が見られ、1~2月の雪の動物園をPRできました。残りの2回は土日開催で行列ができるほどの盛況ぶりとなり、「冬のあったか動物園」を届けることができました。

## 今後のイベント

平成27年3月21日(土) 通常開園日  
※平成27年11月30日(月)まで(通常開園期間中は無休)

## 12/23 クリスマススペシャルイベント「動物園でクリスマス！」



動物たちにクリスマスプレゼント

動物たちとハッピークリスマス

大森山動物園で初めてのクリスマスイベントを開催しました。閉園中の動物園で動物たちと一緒にクリスマスを楽しむと同時に、大切な人と特別な時間を過ごして素敵なクリスマスの思い出を作ってもらおうと企画しました。定員40名のところ57組182名の応募があり、13組41名のかたが大森山動物園からのクリスマスプレゼントに当選しました。当日は、動物たちに餌をプレゼントしたり、クリスマスの雰囲気の中で動物たちと記念撮影やふれあいを行うなど、12組38名の参加者は、時間いっぱい動物たちとのふれあいを満喫しました。このほか、スペシャルランチやケーキを食べ、普段の動物園では体験できないイベントが盛りだくさんで、特別なクリスマスをお楽しみいただきました。

## 1/4~2/28の土日祝 雪の動物園



トナカイのおさんぽタイム

ゴマファザラシの「あらし」

今年で10回目となる「雪の動物園」を、1月4日から2月28日までの土日祝日に開催しました。雪の動物園期間中では、今年の干支にちなみ「ヒツジの干支展」や昨年好評だった「書きZOO(ず~め)」を実施。「書きZOO(ず~め)」は1月末まで。また、3園館連携の取り組みで鶴岡市立加茂水族館からゴマファザラシの「あらし」君をお借りし、ペンギン展示場に登場してもらいました。大森山動物園でゴマファザラシを展示するのは1976年以来的のこと。あらし君の愛くるしい表情や伸び伸びとプールを泳ぐ姿は、来園者はもちろん動物園職員も楽しませてくれました。

このほか、雪の動物園では初めて「雪の動物園まつり」を1月11日に開催。雪の動物園では行っていない動物とのふれあいタイムや記念撮影、エサやり体験などを行い、寒い中足を運んでくれたお客さまに動物たちとの特別な時間を過ごしていただきました。さらに、園内飲食店や売店利用者を対象とした抽選会も行われ、大盛況となりました。